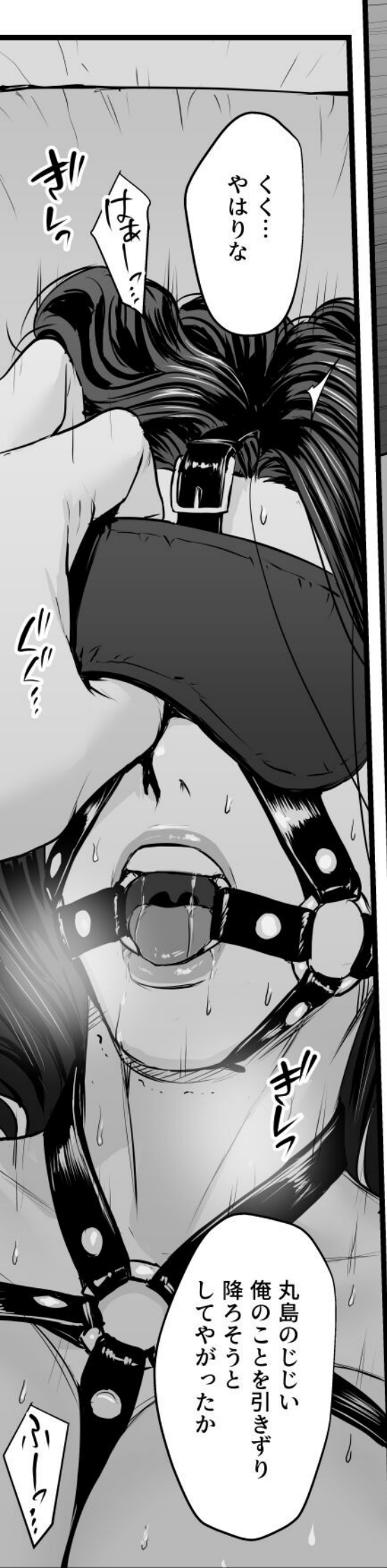


接種券

国会議員の妻を
『ワクチン接種』と偽って
媚薬漬けにする話

第3話 完

作：ブロイラー野鳥

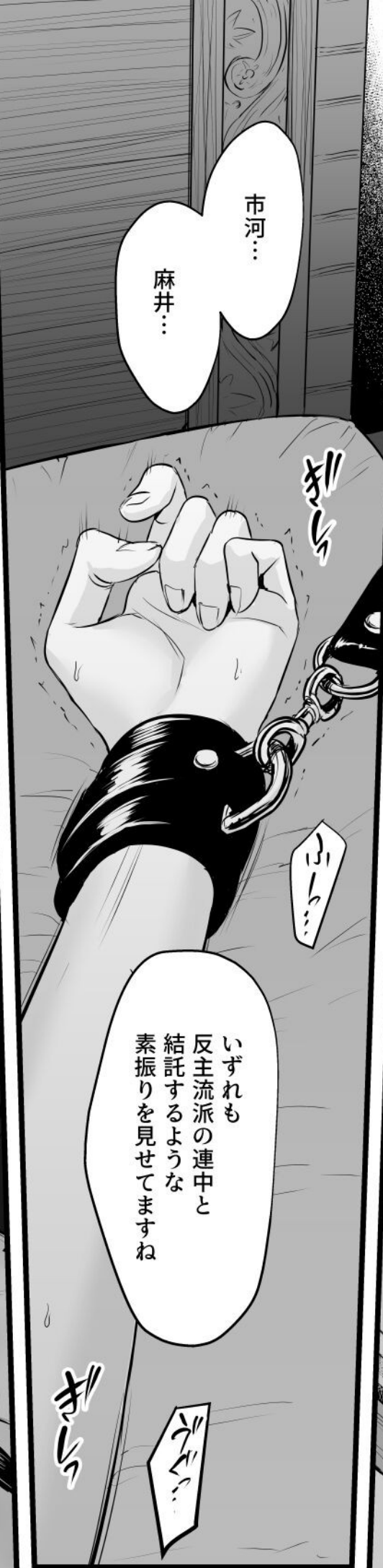


ぐく...
やはりな

はぁ...

おら

丸島のじい
俺のことを引きずり
降ろそうと
してやがったか



市河...

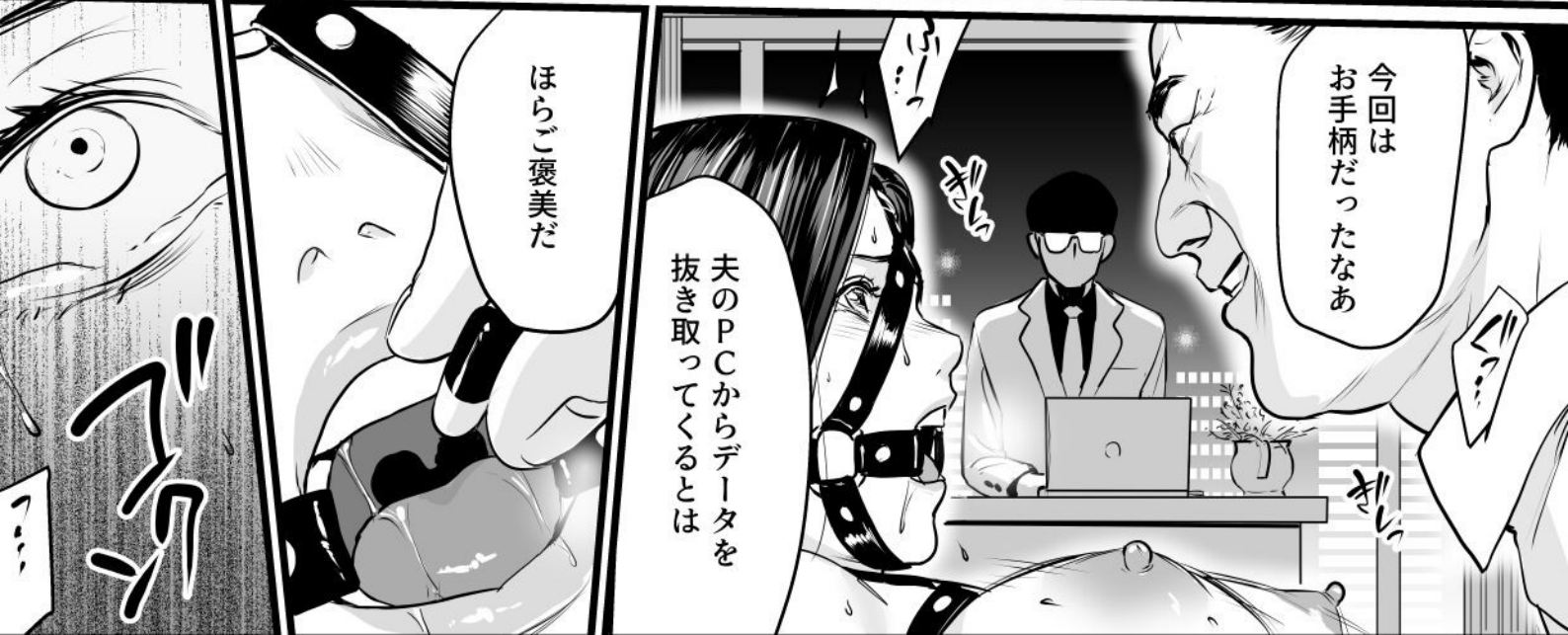
麻井...

いずれも
反主流派の連中と
結託するような
素振りを見せてますね



あー...確かに
データは本物ですね

これで丸島派の
資金の流れが
一目瞭然ですよ



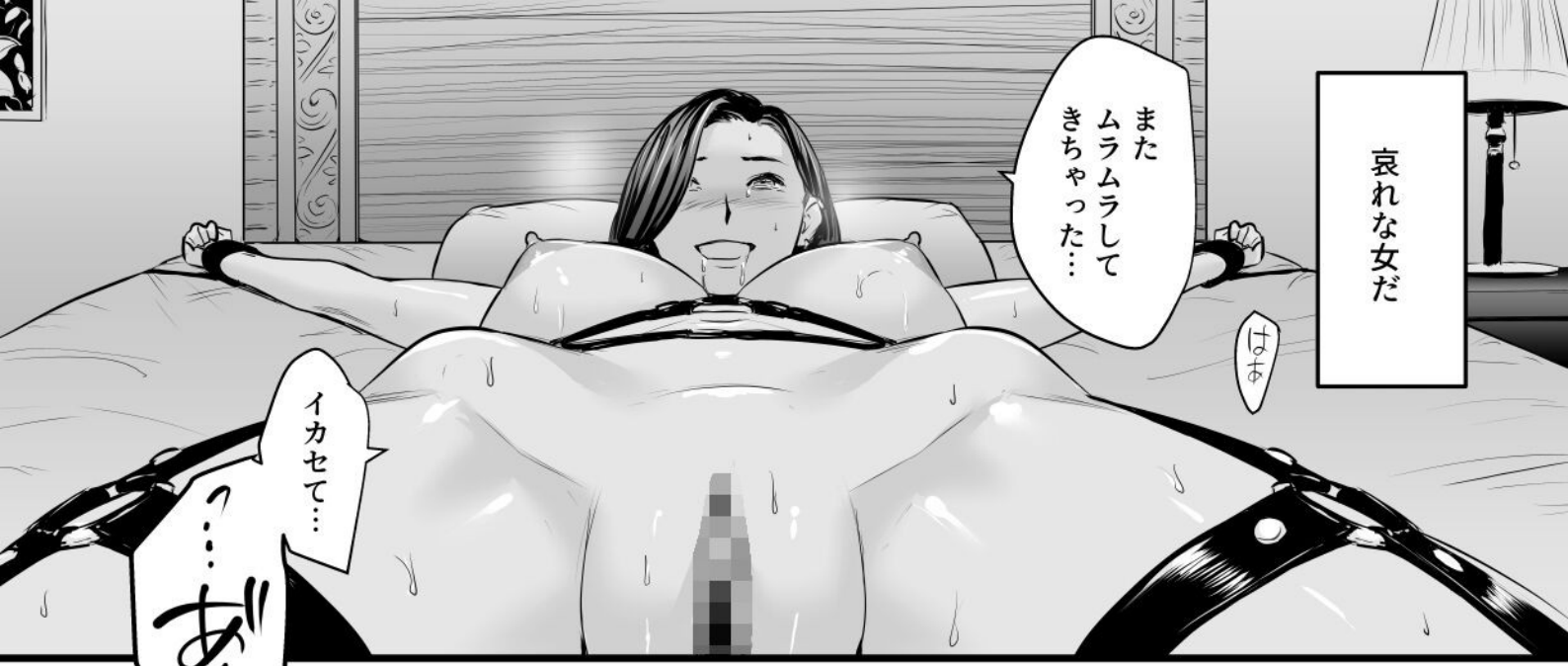
とんだあばずれだ

媚薬狂いの裏切り妻

…だがシジイの誤算は
ボンクラのせがれと

そのボンクラに
お似合いのこの女





哀れな女だ

また
ムラムラして
きちゃった...

痛い

イカせて...

ああ...♡



予想だにして
いないだろうな

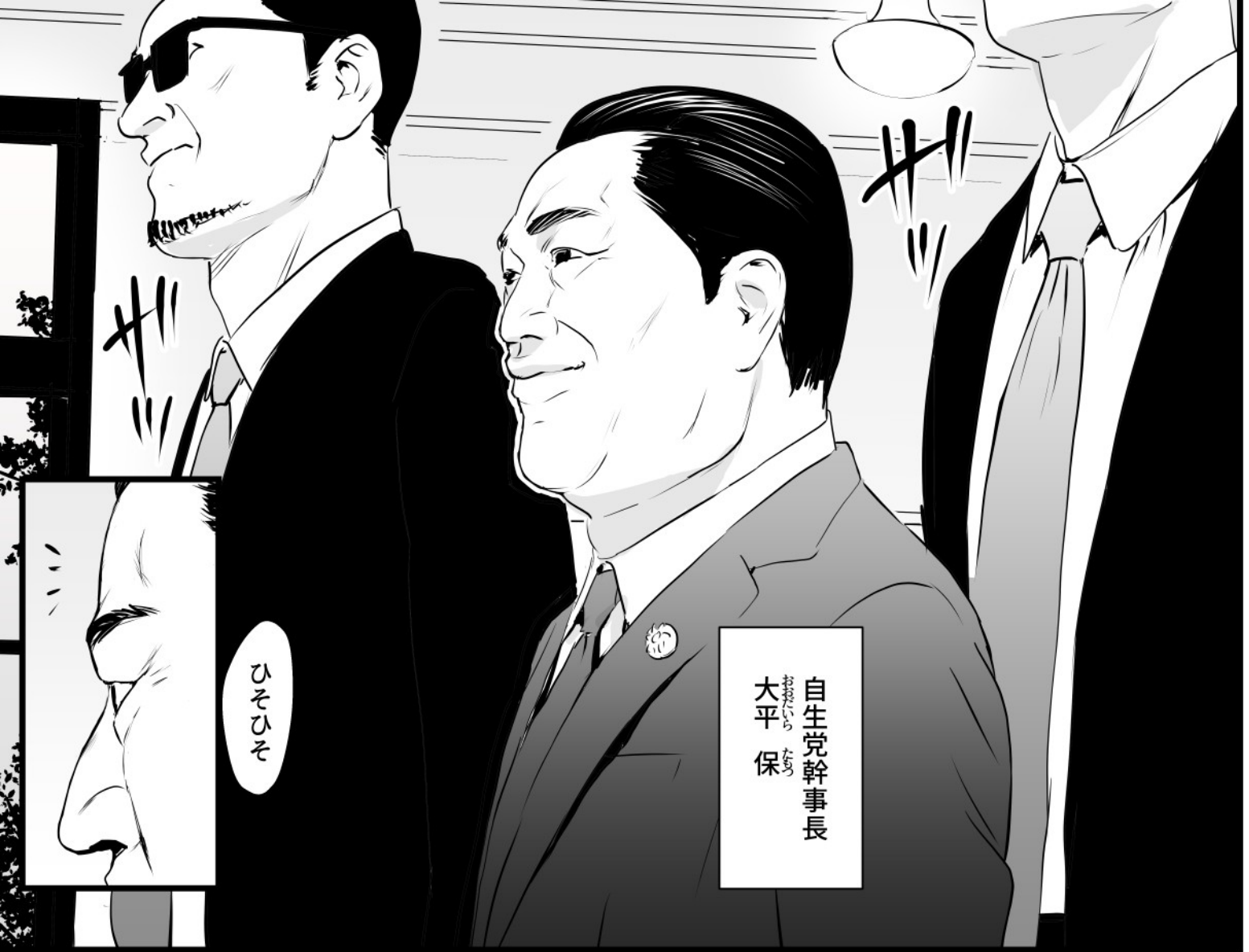
これから真の絶望が

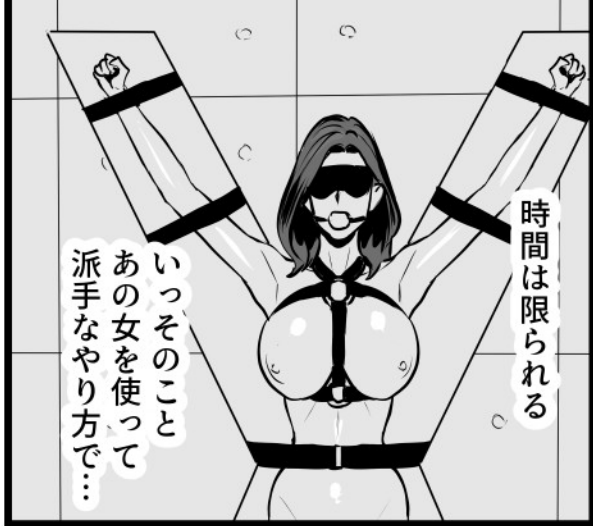
好き♡いれ♡

最高♡

待ち受けている
ことなど

痛い



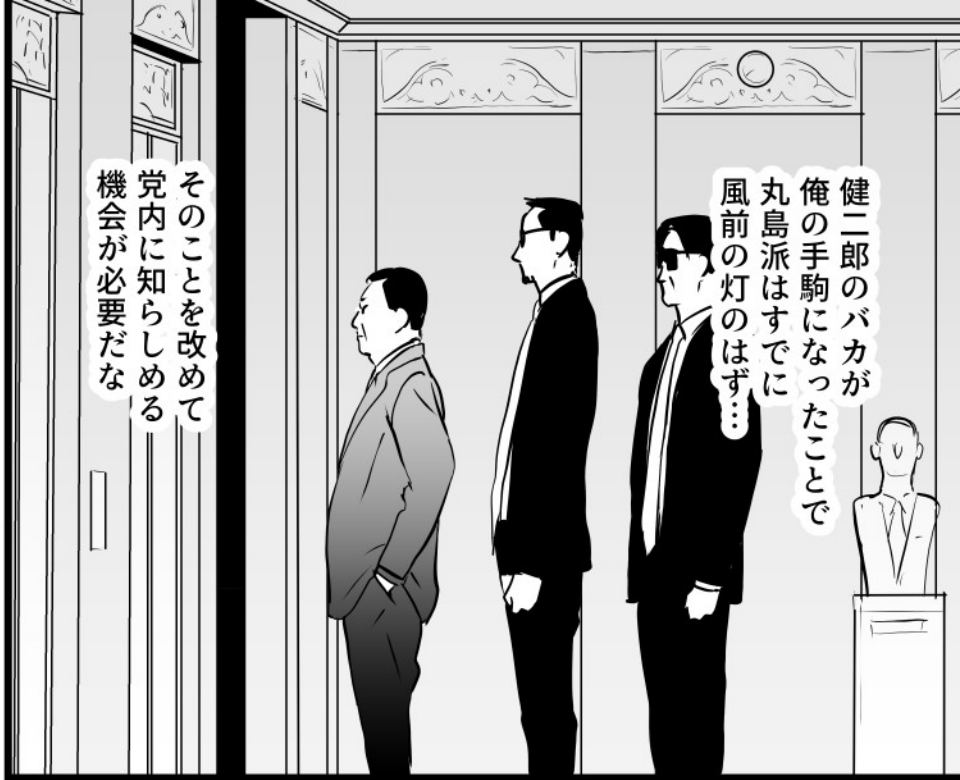


時間は限られる

いっそのこと
あの女を使って
派手なやり方で…



ニイ



健二郎のバカが
俺の手駒になったことで
丸島派はすでに
風前の灯のはず…

そのことを改めて
党内に知らしめる
機会が必要だな



もうすぐ
自生党が俺のものに—



奴にこれ以上の策はない…!

ゴッゴッ



もうすぐだ

ゴッゴッ

隠居の身でありながら
丸島のジジイには
てこずらされたが



に!?

大平幹事長ッ...

たった今
家宅搜索が...

違法な献金が
あったとは
本当でしょうか...!?



な



製薬だと

新型ワクチン
開発の件だが

君の息のかかった
業者に予算が下りる
よう手配しておいたよ

ありがとうございます
ございます



いったい
これは…？

製薬に対する
官製談合
疑惑について

!?



くそっ…

どうした…
上柳のやつ
早く電話に…



し…知らん
秘書が勝手に
やったことだ

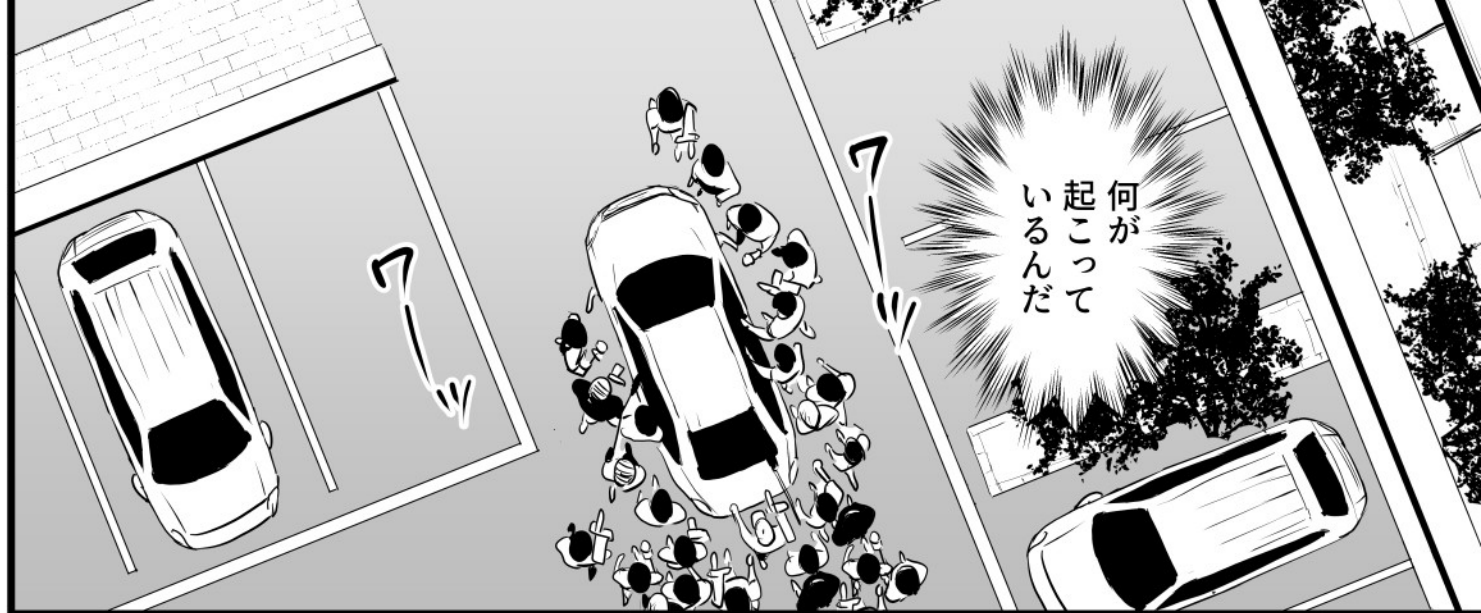
言い逃れは
できませんよっ

ぐっ…



おかけになった
電話番号は
ただいま利用されて
おりません

なっ





どんな裏切り者どもが
あぶりだされるか

楽しみだぜ

お前は
どう思う？

そっ
そうですね
悪いこと
したんですから

当然連中も

報いを
受ける
べきだよなあ？

わたしっ…

よく分かりませ…

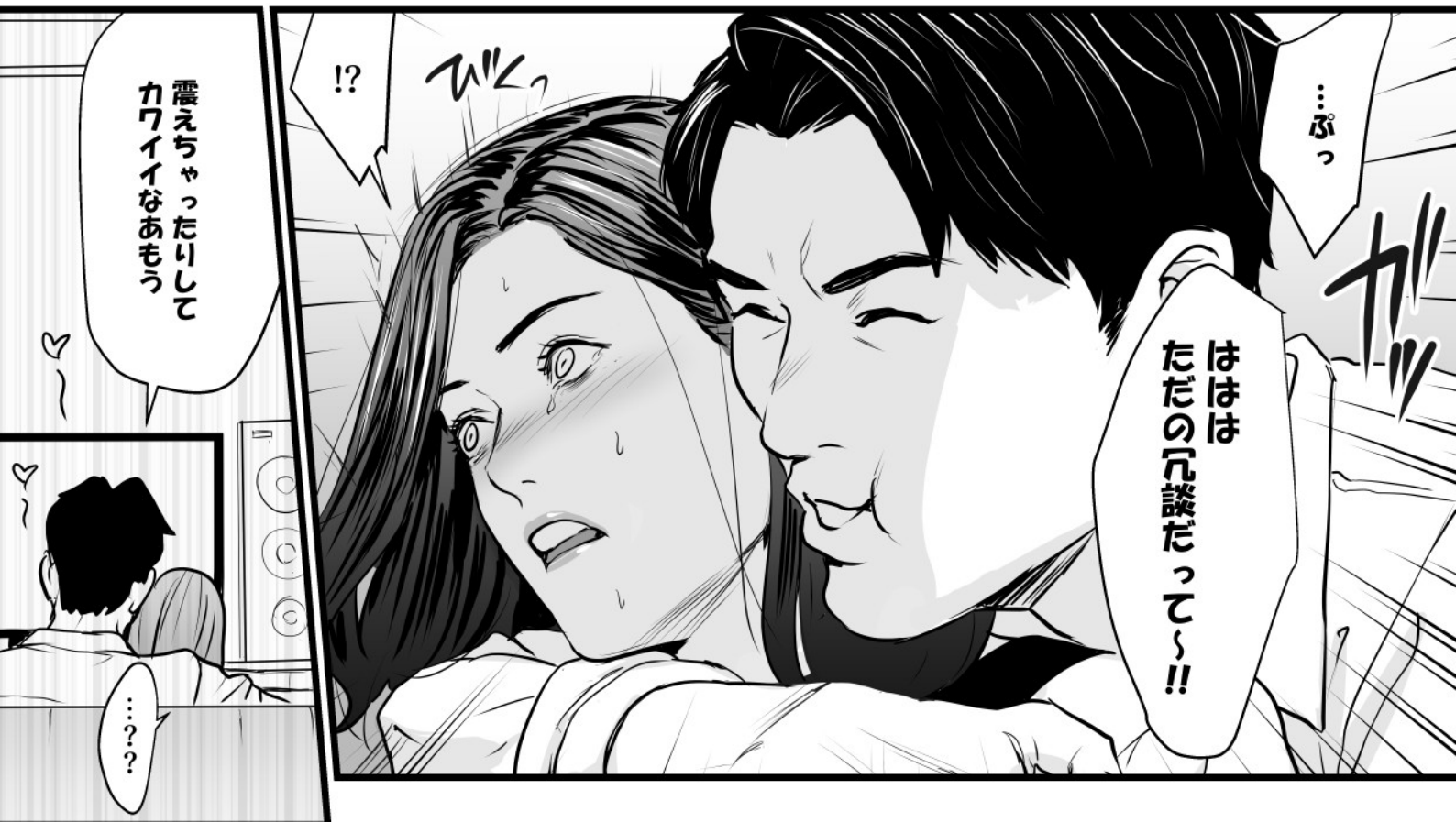
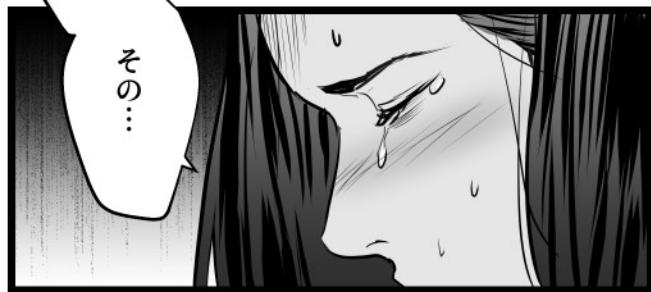
？

…!?

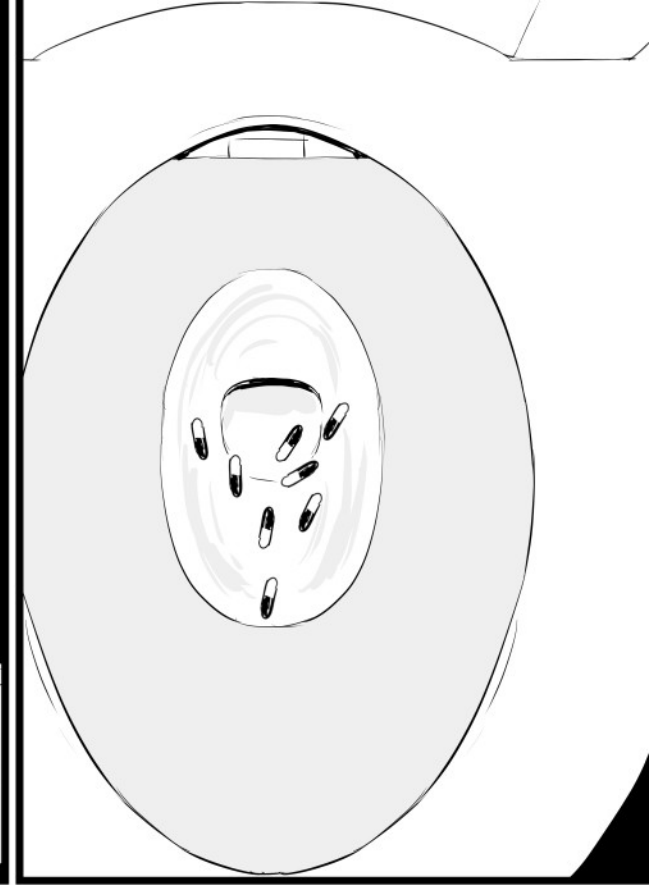
ドクンッ

はっ
ドクンッ

はっ
ドクンッ

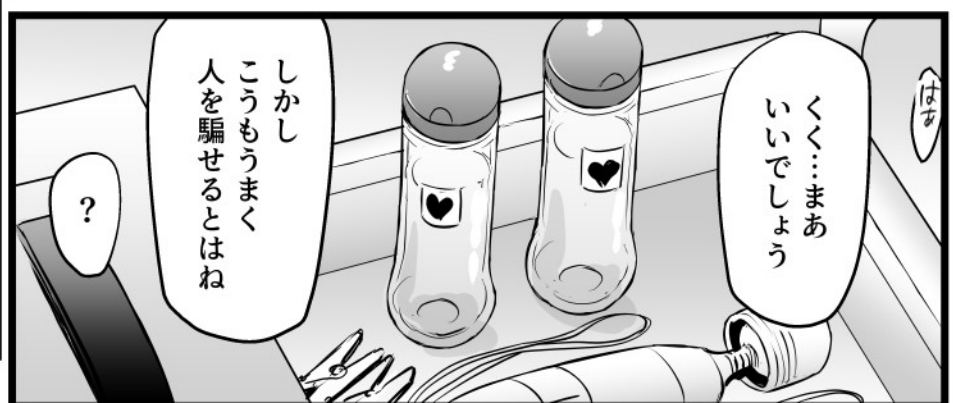














強い欲求不満を
抱えているであろう
標的の女性に対して

え...!?

——つまり
計画はこうです

初めの一回こそ
強力な媚薬を
投与して

強烈な快楽を
覚え込ませます

とろろ...



...しかしその後は
もう小細工は
必要ありません

むしろ彼女の方から
尻にかかりに
来てくれる
というわけです

とろろ...



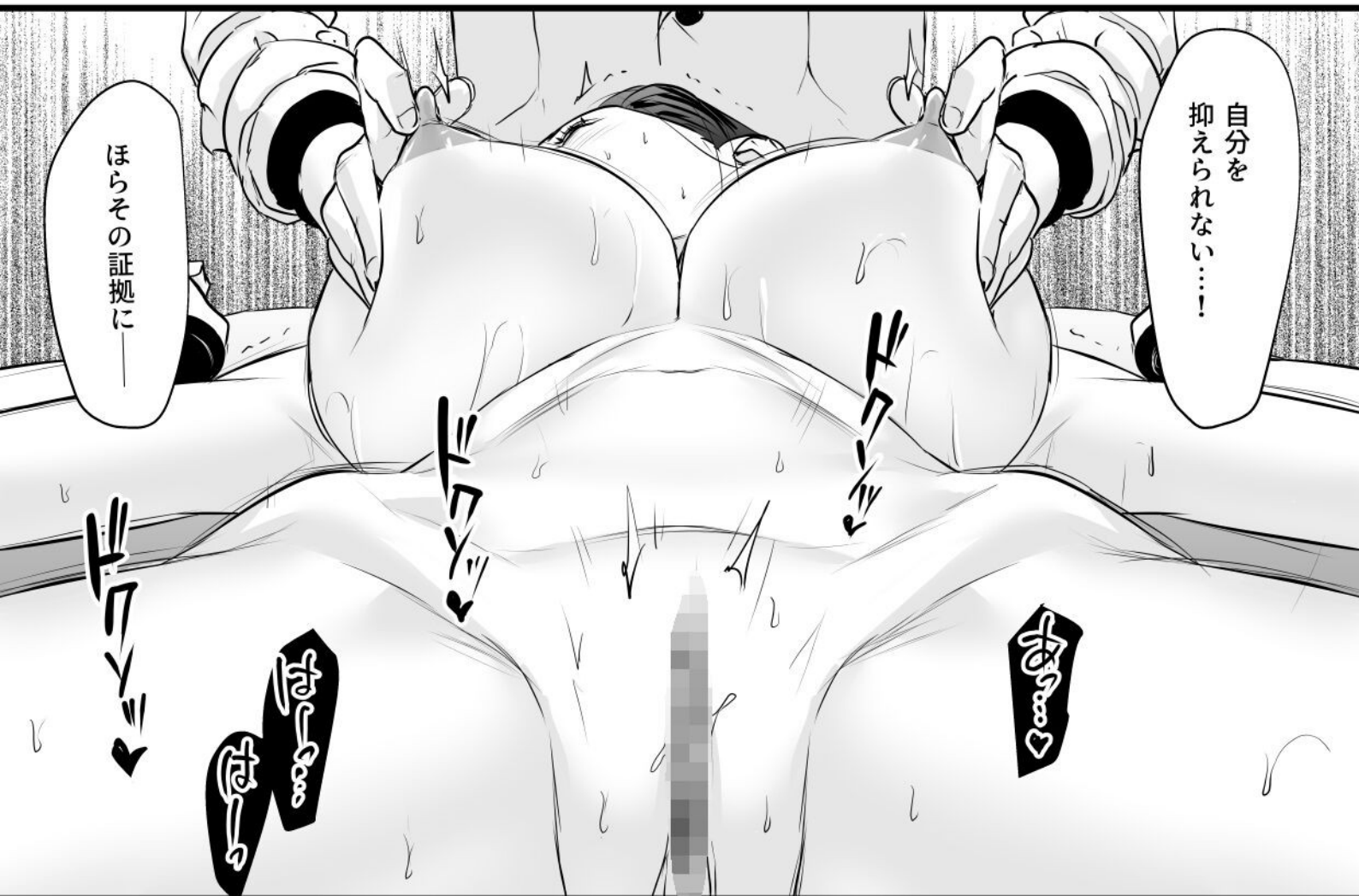
なぜなら
この女性は

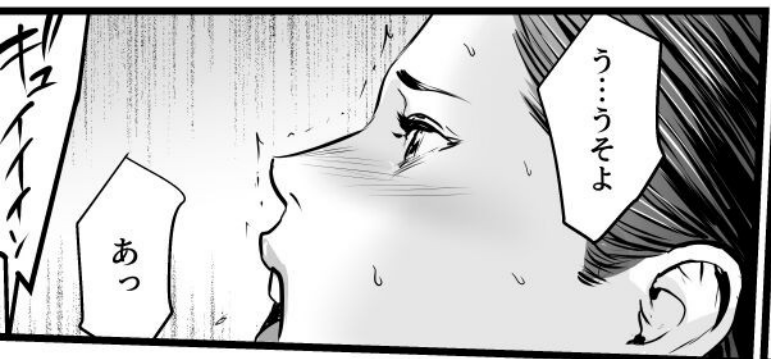
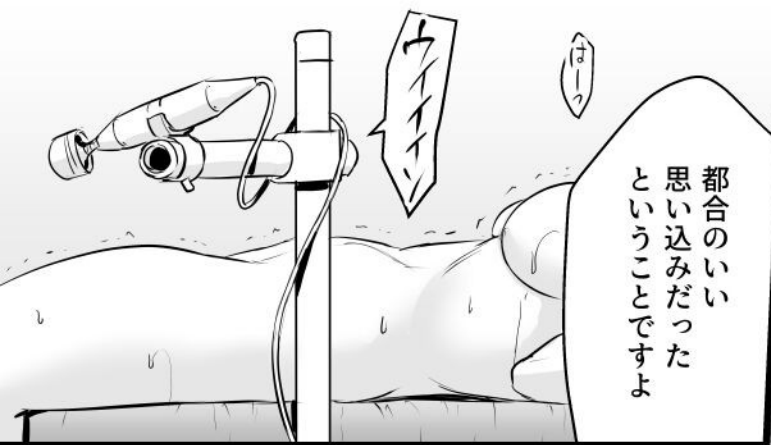
きみ

きみ

きみ

あ...







あー♡♡♡

あ...

ぐちゃ

ぐちゃ

は...

なにが...!!

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

あー♡♡♡

『上』...?

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

なにが目的よ!!?

こんなこと
してっ!!

私個人に目的は
ありませんよ

全て上からの
指示です

目的?

大平は
逮捕された
はずじゃ

あ...だめ
また...







はじめまして!!

この度
自生党青年会長に
立候補する
運びとなりました

丸島健二郎です!!

はじめまして

この度自生党
青年会長に
立候補する
運びとなりました

丸島健二郎です

はじめましてこの度

…いかにいかに
言い忘れてたな

さすがに近頃の
此奴の言動には
目が余るものが
あったのでな

愚息には一足先に
キレイになって
もらったわ

もうかつての
妻のことなど
つゆほども
覚えておらんよ

まだメディアの
前に立つには
教育が必要だが
それも直に…

そんな…

ピッ



!?

あ...

まっ...待って

これは...!?

は...

ギレ

ギレ

ふふ...
いいでしょうこれ

ジュルル

ジュルル
ジュルル
ジュルル

機械は疲れを
知りませんからねえ

壊れるまで
イかせてあげますよ

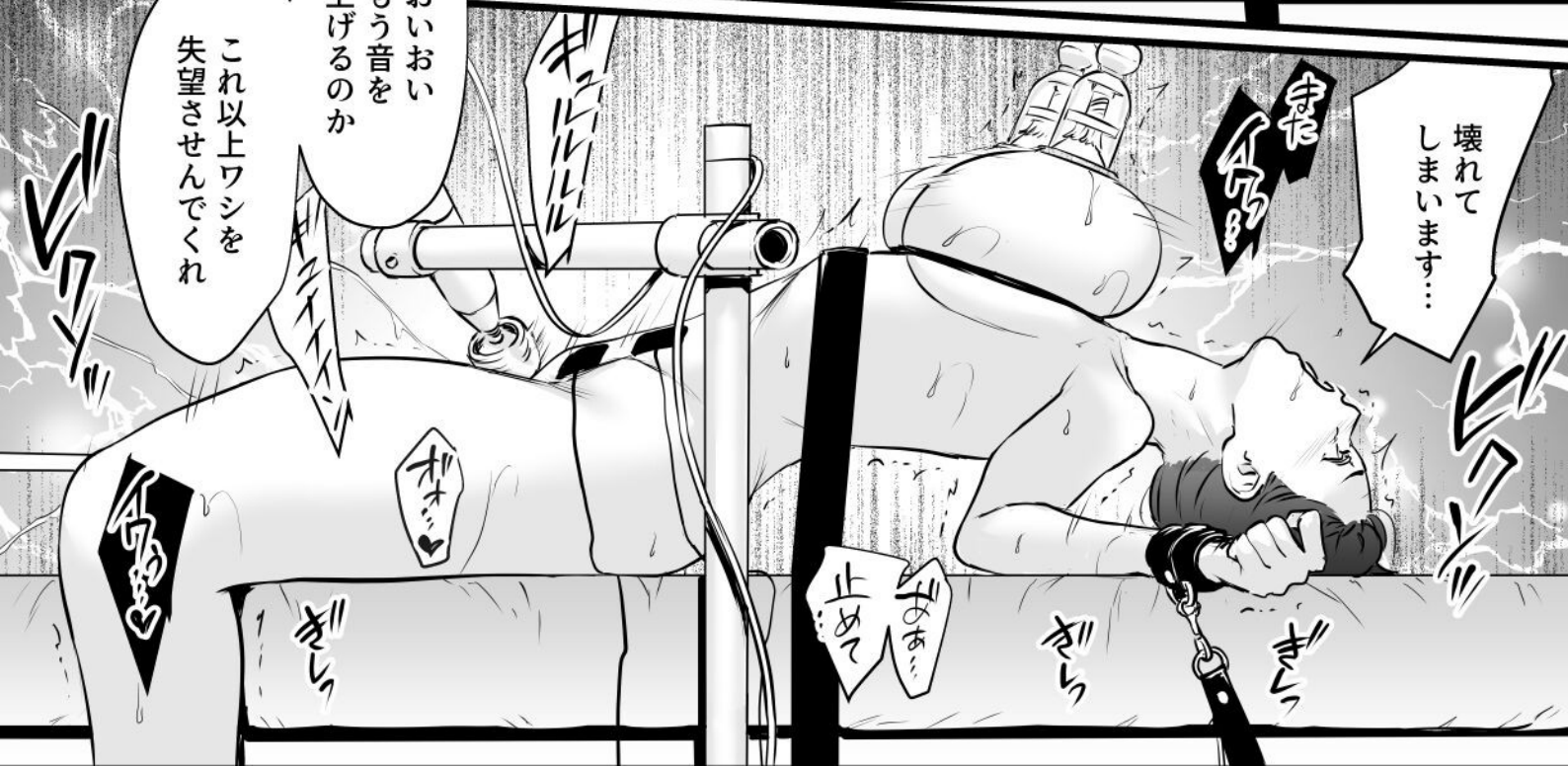
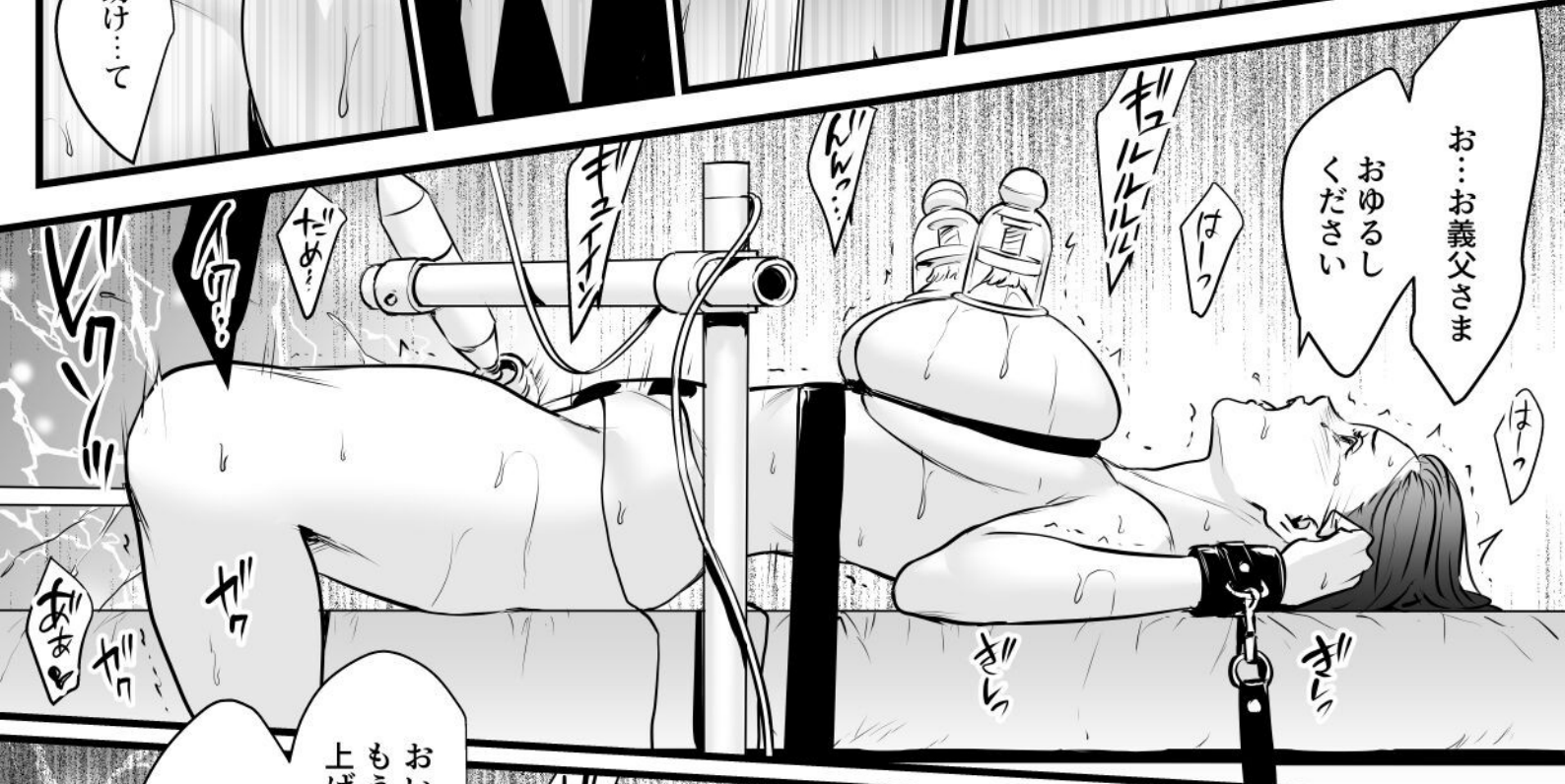
とめてえええ

は...

い...

カッ

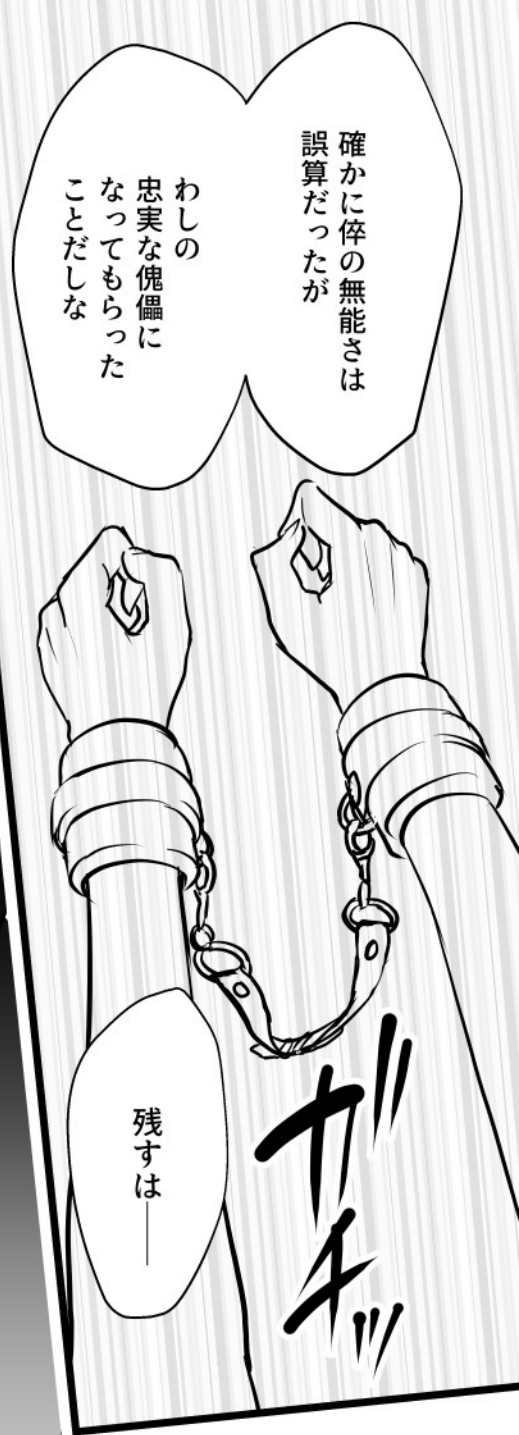
カッ







その後継を



確かに倅の無能さは
誤算だったが

わしの
忠実な傀儡に
なってもらった
ことだしな

残すは

ガッ
チ



——と
言いながら
悦んで
いるんじや
ないか？
身体は



いけません…
お父様

は…





ぐふふ
さんさん機械に
弄ばれて

本物が
恋しくなっていた
頃合いだろう？

安心せい…



おちんぼ
やばい…

やばい…



しっかりと
孕ませて
やるわ…!!

だめ…
放して…





ガッガッガッ

ガッガッガッ

ガッガッガッ

ひゃ

わわわ

ガッ

ガッ

ガッガッ

